

## 次号予告

### 特集 AHPの応用

- 意思決定における評価方法 .....加藤 豊 (法政大学)  
ANPを組み込んだAHPの適用: 教員の評価を例題として .....関谷和之 (静岡大学)  
新幹線の需要予測-将来の社会経済環境の構造変化に対応 .....土井利明 (東海旅客鉄道)  
通信ネットワークにおける伝送網の選択問題へのAHPの適用 .....大屋隆生 (電力中央研究所)  
AHPを中核としたFBRサイクルシステム候補概念選定手法の開発 .....篠田佳彦 (燃料サイクル開発機構)  
CRMシステム納入業者選定におけるAHP適用事例研究 .....高倉 満 (生活気象研究所)

### 編集後記

●編集委員になって10ヶ月が過ぎました。編集活動を通じて、ORというテーマをなるべく多くの方々にとって興味深く、理解しやすい「読み物」にすることが如何に難しいかを痛感しています。

●今月から「事例紹介」コーナーを開設しました。ORは問題解決のための学問と言えます。理論や手法の研究の大切さは言うに及ばず、これらをどのように適用して実際の問題を解決するかも重要な課題であり、また実務上の問題解決を通じて新たなORの理論的、方法論的課題が導き出されることもあります。OR誌では従来から査読付きの「論文・事例研究」を掲載していますが、このような観点から査読付きの学術論文としての厳密性や体裁に拘らず、現実の問題の背景や解決の難しさなどを紹介した親しみやすい記事の掲載を目的として新設しました。

●さて今月は「最近のネットワーク工学技術の動向」

特集です。目覚ましい技術革新が続くこの分野の中から、最新技術の解説から具体的事例における手法適用の話題、プロトコルスタックの比較的低いレイヤから上位レイヤの話題、実用化されている技術から将来技術の話題など幅広い範囲を東京大学の若原恭先生に多角的な視点でオーガナイズして頂きました。改めてネットワーク工学における課題が多岐にわたっていることがよく理解できます。

●情報通信ネットワークの設計・運用・管理においては「ソリューション」という言葉がよく使われます。ソリューションサービスでは製造業で行われてきた品質管理や生産管理などの考え方を情報通信ビジネスに焼き直したものが多くあり、そこで利用される手法やアプローチにはORが多くあると感じます。本特集により、今後のネットワーク工学におけるソリューション(=問題解決)の場でORがさらなる活躍をすることを願う次第です。(矢田 健)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 上田 徹(成蹊大学) 副委員長 高橋敬隆(早稲田大学)

委員 池上敦子(成蹊大学)、大澤義明(筑波大学)、大屋隆生(電力中央研究所)、小沢利久(駒澤大学)、杉野隆(国士館大学)、高橋一喜(東京ガス㈱)、中川慶一郎(㈱NTTデータ)、中川義之(キヤノンシステムソリューションズ㈱)、生田目崇(専修大学)、難波和明(東京理科大学)、原 裕淳(東芝ITソリューション㈱)、平山克己(北九州市立大学)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、矢田 健(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

# オペレーションズ・リサーチ

平成 15 年 3 月号 第 48 卷 第 3 号 通巻 507 号

代表者 小笠原 暁

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 上田 徹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ